

特集

## 宮城大学の学生団体 寺岡Knots(ノッツ)プロジェクト



「寺岡Knotsプロジェクト」のメンバーの皆さん

### 多世代交流を通じて、つながりの場を育てる

宮城大学と三菱地所株式会社は、泉パークタウン寺岡にある多世代交流施設「寺岡Knots」を拠点に地域の課題解決や地域の活性化に向けて活動していこうと2022年3月に連携協力に関する協定を締結しました。それ以来、宮城大学の学生団体「寺岡Knotsプロジェクト」では、多世代が交流し、地域の中ですべての世代が安心して生活できる「つながりの場」を育てるため、さまざまな活動を行っています。「つながりが生まれると、まちをもっと好きになる」という熱い想いを胸に、地域に笑顔の輪を広げている「寺岡Knotsプロジェクト」の取り組みを紹介します。



クリスマスフェスタを開催

### Contents

#### 特集

- 宮城大学  
寺岡Knots(ノッツ)プロジェクト ..... 1-3
- 企業の社会貢献 ..... 4-5  
・ミカド電装商事株式会社  
・株式会社協和商事
- 子どもの居場所づくり支援 ..... 6  
・KONUYUBI TOMARE  
はらのまち食堂
- ボランティアセンターからのお知らせ ... 7
- イベントインフォメーション ..... 8

# 特集

宮城大学 学生団体  
寺岡Knotsプロジェクト  
の取り組み

世代を超えて笑顔が咲き誇る

学生と地域住民のコラボレーション

## 世代交流の輪を 地域に広げよう



リノベーションEXPO東北での活動



子どもたちのワークショップ



高齢者を対象としたスマホ教室



泉パークタウンストリートフェスへの参加



住民の皆様と作り上げた謎解きイベント



仙台泉プレミアム・アウトレットの企画に協力

### 一 多世代交流を合言葉に、より独創的な取り組みを

三菱地所株式会社との連携により、2022年から活動を始めた「寺岡Knotsプロジェクト」には、現在27名の学生が参加しています。「地域をもっと元気にしたい」「新しいことにチャレンジしたい」という熱い想いを胸に、多世代交流チームとデジタルチームに分かれ、地域に寄り添った活動を続けています。

活動の拠点となっているのは、三菱地所株式会社が所有し、株式会社泉パークタウンサービスが管理する「寺岡Knots」です。ここでは中学・高校生や親世代、高齢者世代と一緒にイベントを考えるアイデア会議をはじめ、地域の小学生たちと遊ぶ放課後訪問、地域の高齢者の皆さんを対象にしたスマートフォン教室など、さまざまな取り組みが行われています。

代表を務めている大沼未来さん(事業構想学群)は、「子どもからお年寄りまで、世代を超えて自然に交流できる場をつくるのが、私たちの大きな目的です。例えば異なる世代が関わることでゲームが成立するオリジナルのビンゴ企画など、世代を超えてみんなが笑顔に包まれる工夫も生まれています。これからも末永く地域と関わっていききたいですね」と声を弾ませます。

こうした活動を通じて、学生と地域の距離はぐんと縮まっており、他県出身の学生からは「寺岡はまるで第二のふるさとのような存在です」という声が聞かれているほどです。結び目や絆を意味する「Knots」の名前の通り、人と人、心と心をつなぐ魅力的なまちづくりを進めています。

## 大学生の VOICE

～リーダーの皆さんの声を中心に紹介します～



### VOICE 02 事業構想学群 事業プランニング学類 3年 蜂谷 真杜さん

「寺岡Knotsプロジェクト」は発足から4年が経ち、地域の皆さんに少しずつ顔を覚えていただける存在になってきたと感じています。継続的なイベントの開催や地域行事への参加を通じて、単発の関わりではなく、日常の中での信頼関係を築くことができました。地域の方たちから声をかけていただけるが増え、地域に必要とされている実感が活動の原動力になっています。今後も学生ならではの視点を生かし、地域に根ざした取り組みを続けていきたいです。

### VOICE 04 事業構想学群 価値創造デザイン学類 2年 吉川 なのはさん

イベント等を通して、将来的に住民同士の世代間交流が自然に生まれることを目指し、これまで活動してきました。地域イベントを重ねる中で顔見知りの住民の方が増え、「寺岡Knotsプロジェクト」の存在も、地域の中に少しずつ浸透してきているのではないかと実感しています。今後も、住民の方々をつなぐ架け橋として、イベントの開催や継続的な交流を通じ、地域を住民の皆さまと共に盛り上げていきたいと考えています。

### VOICE 01 事業構想学群 事業プランニング学類 4年 末永 あいさん

初のプロジェクト実施から4年が経過した2025年度は、1～4学年が揃い、地域の多様なニーズに応えられるように活動を幅広く展開できた1年でした。地域の方々と深くかかわる中で、大学内では得られない多くの学びと成長を実感しています。2026年度で「寺岡Knotsプロジェクト」は5年目を迎えます。今後も地域の皆さんと歩み、活気あるまちづくりに貢献しながら、私たちも地域の一員となれるよう、より一層活動を盛り上げていきたいです。

### VOICE 03 事業構想学群 事業プランニング学類 2年 佐々木 にい菜さん

活動を始めた頃は、大学生が地域に溶け込むことの難しさを強く感じていました。しかし、「寺岡Knotsプロジェクト」の成長とともに、少しずつ地域の方に顔を覚えていただき、以前よりも受け入れてもらっていると実感できるようになりました。地元ではない地域にも関わらず、こんなにも深く関わられて、愛着を持てるようになったことがとても嬉しいです。これからも人とのつながりを大切にしながら、地域の一員として活動を続けていきたいです。

### VOICE 05 事業構想学群 1年 日下 美羽さん

私は今まで自分から何かを始めることがなかったので、大学入学を機に新しいことに挑戦したいという思いから「寺岡Knotsプロジェクト」に所属しました。現在は放課後訪問企画のリーダーを務め、地域の小学生を対象に、月に一度イベントを開催しています。自分たちが企画した活動を楽しみにしてくれている小学生の姿を見ると、大きなやりがいを感じています。これからも「寺岡Knotsプロジェクト」の活動を通じて地域の方とたくさん交流していきたいです。

### メッセージ Message

## 「寺岡Knotsプロジェクト」らしさを伝承してほしい

「寺岡Knots」は、多世代交流をテーマにフリースペースやレンタルルームを備えた地域の交流拠点です。当社では宮城大学とワーキングチームを結成し、地域の皆様とディスカッションを行いながら、さまざまな企画に取り組んでいます。宮城大学の「寺岡Knotsプロジェクト」のメンバーは、学年が進み、経験を積み重ねるたびに、どんどん成長しています。企画によっては、プロ顔負けのハイクオリティなプレゼンテーションをこなしているので本当に驚かされます。これからも「地域を元気にしたい」という想いを大切に、そのスピリッツを伝承してほしいですね。

株式会社泉パークタウンサービス 不動産事業部長 **遠藤 雄二さん**

## 未来に貢献できる企業を目指して



▲こども食堂のお手伝い



▲お弁当の出来上がり



▲子どもたちも大喜びのメニュー

「企業として何か社会の役に立てることはないだろうか」。そんな社員の率直な想いから、ミカド電装商事株式会社のボランティア活動は始まりました。具体的には利益の一部を、宮城県立こども病院をはじめとする団体に寄付をしたことが、会社ぐるみによる社会貢献活動の第一歩となりました。宮城県立こども病院への寄付金は、入院中の子どもたちが使う玩具や絵本の購入などに活用され、多くの笑顔につながっていると聞いています。

その後も同社では社員の希望に沿った寄付先への寄付を継続しながら、地域により身近な形で関わられるように、月に一度「こども食堂BAMBOO」さんのお手伝いボランティアに参加しています。調理の補助やお弁当の盛り付けなど、無理のない範囲で社員が協力し合いながら活動を続けています。

「社内でスケジュールを調整し、参加したい社員を中心に取り組んでいます。本業をちょっと離れて、世代を超えた地域の皆さんと交流できることは、社員にとって

もかけがえのない体験につながっています」と語るのは、代表取締役社長の沢田秀二さんです。社内では、こども食堂以外にもさらにできることはないか、社員同士で前向きな話し合いが続いているそうです。

同社では、毎朝全員による清掃活動を実施し、社内だけでなく、会社周辺の道路まできれいにしています。「社会のために、地域のために何かしたい」という想いは、日頃の行動を積み重ねていく中で、社員ひとりひとりの中に着実に根付いています。

### ミカド電装商事(株)の社会貢献

ミカド電装商事株式会社の主な取り組みは、こちらをご覧ください。



## 子どもたちの笑顔を広げるお菓子の寄付活動



▲店内に設置されたお菓子寄付BOX



▲寄付BOXのお知らせ



▲お客様から寄せられたお菓子

「賞品のお菓子を通じて子どもたちに笑顔を届けたい」という想いで、お店に来たお客様から寄せられたお菓子を子どもたちへ届けている企業があります。仙台市青葉区でパチンコ店(PSpark)を運営する株式会社協和商事です。

店内のカウンター付近に設置された「お菓子寄付BOX」は、夕刻が近づくにつれ、お客様の優しさが込められたお菓子でいっぱいになります。これらのお菓子は月に1~2回、仙台市社会福祉協議会にまとめてお届けし、こども食堂や地域のイベント、さらには高齢者の茶話会など、多くの皆さんが集まる交流の場で活用されています。

店長の河端 勝さんは、「お子さんたちに直接お会いする機会はありませんが、お菓子を手に喜んでいる写真を見るたびに、この活動を始めて本当に良かったと実感しています。お客様のご協力に支えられながら、まずはこの活動を末永く継続していくことが目標です」と活動のやりがいを語ります。

この取り組みは、本社企業である株式会社アラジンホールディングス(福島県郡山市)の活動がきっかけで始まりました。「仙台でも笑顔の輪を広げたい」というスタッフの熱意がお客様に伝わり、今では多くのお菓子が寄せられるようになっています。お店で商品交換をするお客様からの善意のバトンが、子どもたちの笑顔へとつながっているお菓子の寄付活動。お客様ひとりひとりの心づくしが、お店を介して地域の中に大きな笑顔の輪を広げています。

### 本社企業の取り組み

本社企業である株式会社アラジンホールディングスの社会貢献活動は、こちらをご覧ください。



# 子どもの居場所づくり

～ 支え合いを大切に、この指とまれ～

KONNOYUBI TOMARE はらのまち食堂（仙台市宮城野区）



## — 毎日温かいごはんを食べてほしいから

宮城野区原町本通りの中心部に、年末年始などの長期休暇を除き、ほぼ毎日（昼・夜とも）開催しているこども食堂があります。「KONNOYUBI TOMAREはらのまち食堂」です。

代表理事の渡邊昌宏さんが活動を始めたきっかけは、テレビで流れたこども食堂のニュースでした。「週1回や月1回の開催では、それ以外の日にお腹が空いてしまう。やるなら毎日でなければ……」という並々ならぬ決意でスタートさせたこども食堂は、ひと月で1,500名を超える利用者が訪れたこともあるほど、地域に必要な拠点となっています。

ある日、小さなお子さんを連れてお母さんがやって来ました。当初は疲れきった表情でしたが、次にお会いしたときはパッと輝くような笑顔になっており、「その姿を見たとき、ああ、始めてよかったと心から思いましたね」と渡邊さん。

季節にちなんだイベントや外国人ボランティアによる英会話レッスンなど、お楽しみがギュッと詰まったこの場所では、利用者の笑い声が絶えません。地域の皆さんが食べに来てくれること自体、活動を支えるボランティアにつながることから、「まずは大人の皆さんにも気軽に足を運んでほしい」と渡邊さんは語ります。地域の支え合いを大切に、温もりあふれる空間がそこには広がっています。



## INFORMATION

「KONNOYUBI TOMAREはらのまち食堂」では、運営のための寄付を募っています。  
詳しくは TEL 022-369-3827 または 携帯 080-5870-0009（渡邊）まで

# 仙台市ボランティアセンターからのお知らせ

「2025企業の社会貢献セミナー」開催  
多くの企業様にご参加いただきました!

「企業活動にちょっとしたプラスでできる社会貢献」をテーマに、令和7年11月20日（木）、セミナーを開催しました。当日は、社会貢献について学ぶとともに、その効果・メリットについて、参加者同士の情報交換を通して共有しました。

また、他社が取り組んでいる活動やアイデアを知り、今後の参考やきっかけづくり、既存の取り組みのさらなる発展につなげる機会としていただくことができました。

参加者の皆様からは、「他社の活動や企業に求められる活動を知ることができた。改めて何ができるのかを検討していきたい。」など多くの前向きな感想をいただきました。

本会では、今後も地域貢献活動に取り組む企業の皆様を積極的に支援してまいります。「何か始めてみたい」、「新しい情報が欲しい」など、どのようなことでも構いませんので、ぜひボランティアセンターまでご相談ください。

詳しくはこちらをご覧ください ▶



## 令和7年度に参加いただいた参加企業及び団体一覧

（順不同）

- 株上郡店
- 株共栄防災
- こいのぼり社 労士・行政書士事務所
- 株サンゲツ 東北支社
- 株昭和羽前建設工業
- (一社) 仙台設備工事業協会
- 損害保険ジャパン(株)
- 広瀬病院 介護事業部
- 日新火災海上保険(株)
- 日本ビューレット・パッカード合同会社
- 株宮城衛生環境公社
- 宮城興業(株)
- 税理士法人 s.m.consulting
- 株ドコモCS東北
- 株ドコモCS東北 監査部
- 株ドコモCS東北 宮城支店
- 錦エステート(株)
- 明治安田生命保険相互保険会社 仙台広瀬通営業部
- ヤマト運輸(株) 新宮城主官支店
- 法務省 東北矯正管区
- 竹親連合会
- 株サンテック 東北支社
- 株東北共立
- 株マルハン
- 宮城第一信用金庫
- 仙台第二マーケット開発室
- ウエノ設備(株)
- 東北高等学校
- 仙台青葉学院短期大学
- 東北福祉大学
- 宮城学院女子大学
- 仙台市立仙台青陵中等教育学校
- 高森中学校同窓会
- (社福) 仙台市社会福祉協議会

“ボラセン”では活動のヒントとなる「企業の社会貢献カタログ」を配布しております!



# イベントインフォメーション

## 宮城県ボランティア活動総合補償制度

ボランティア保険とは日本国内のボランティア活動中のケガや傷害、物損などの損害を補償する保険です。もしもの事故に備えてボランティア保険に加入することで、安心して活動に取り組むことができます。

加入窓口

市・区ボランティアセンター、宮城支部事務所

令和7年度に加入したボランティア保険は  
令和8年3月31日に補償期間が終了します。

### 加入手続きに必要なもの

#### ● ボランティア保険加入申込票

(窓口にて配布しています)

※加入者全員の氏名・住所・電話番号の情報が  
必要です。

※既存の名簿に上記内容がすべて記載されて  
いる場合は、その名簿を2部ご提出  
ください。

#### ● 保険料

Aプラン … 300円

Bプラン … 500円

天災プラン … 670円等

※お釣りの無いようにご準備ください。

● 詳しくは  
仙台市社協  
ホームページを  
ご覧ください



[https://www.shakyo-sendai.or.jp/  
action/volunteer/insuranc](https://www.shakyo-sendai.or.jp/action/volunteer/insuranc)

## 仙台防災未来フォーラム2026

災害ボランティアセンタークイズを  
通して、災害ボランティアについて学  
びましょう。クイズに正解すると豪華  
賞品も!?

参加者  
募集中  
定員24名

日時 3月14日(土)  
9:45~10:15

場所 仙台国際センター展示棟会議室4-B

申込 仙台市ボランティアセンター TEL022-262-7294



### 青葉区ボランティアセンター

仙台市青葉区二日町4-3 仙台市役所二日町分庁舎1階  
TEL 022-265-5260

### 若林区ボランティアセンター

仙台市若林区保春院前丁3-1 若林区中央市民センター別棟1階  
TEL 022-282-7971

### 青葉区宮城支部事務所

仙台市青葉区下愛子字観音堂27-1(仙台市宮城社会福祉センター内)  
TEL 022-392-7868

### 太白区ボランティアセンター

仙台市太白区長町南3-1-30南部アーチル1階  
TEL 022-248-8188

### 宮城野区ボランティアセンター

仙台市宮城野区原町3-5-20 メゾン坂下1階  
TEL 022-256-3650

### 泉区ボランティアセンター

仙台市泉区七北田字道48-12(泉社会福祉センター内)  
TEL 022-372-2603

▼ 掲載記事に関するお問い合わせは仙台市ボランティアセンターまで ▼



社会福祉法人

仙台市社会福祉協議会

## 仙台市ボランティアセンター

〒980-0011

仙台市青葉区上杉1丁目6-10 EARTH BLUE 仙台勾当台6階

TEL 022-262-7294 FAX 022-216-0140

▼ ホームページはこちら

<https://www.shakyo-sendai.or.jp/>

仙台市ボランティアセンター

検索

